



Micro Cleaner®

STRONG ACID

マイクロクリーナー 酸性ストロング

改訂日: 令和4年6月1日
株式会社タックアンドカンパニー
東京都練馬区高松3-2-8
TEL: 03-5848-9240

製品安全性データシート (SDS)

1. 化学物質等及び情報

化学物質の名称	マイクロクリーナー酸性ストロング
会社名	株式会社タックアンドカンパニー
住所	東京都練馬区高松3-2-8
担当者名	新井田 康介
電話番号	03-5848-9240
FAX番号	03-5848-9241
推奨用途及び使用上の制限	洗浄剤

2. 危険有害性情報

GHS分類	
物理化学的危険性	
金属腐食性物質	区分1
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
生殖細胞変異原性	区分2
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2
環境に対する有害性	分類できない
※記載のないものについては分類対象外又は分類できない	

絵表示またはシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
飲み込むと有害
重篤な眼の損傷、皮膚の葉傷
金属腐食の恐れ
長年に亘る又は反復暴露による臓器の障害の恐れ

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区分

混合物

成分	組成比	CAS No.
純水	非公開	732-18-5
ヒドロキシカルボン酸	非公開	非公開
アミド硫酸	非公開	非公開
溶剤	非公開	非公開
非イオン界面活性剤	5% 未満	非公開
ふっ素化合物	5% 未満	非公開

4. 応急措置

皮膚に付着した場合

直ちに水及び石鹼を使用してよく洗い、その後必要に応じてスキンクリーム等で手入れをする。
異常の残る場合は本品を持参の上、医師の診断を受ける。

眼に入った場合

直ちに多量の清水で15分以上よく洗い、上下瞼の裏側も含めて洗眼する。
直ちに本品を持参の上、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに水で口内をよくすすぎ、必要に応じて水を飲ませる。無理に吐かせない。
異常の残る場合は本品を持参の上、医師の診断を受ける。

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静を保つ。
異常の残る場合は本品を持参の上、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火材

水、二酸化炭素、泡、粉末消火剤
周辺火災の場合にはあらゆる消火剤の使用が可能である。

消火を行う者の保護

消火活動は可能な限り風上から行い、有毒なガスの吸入を防ぐとともに、消火活動では適切な保護具を必ず着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

露出防止作業は必ず保護具を着用し、換気・通気を励行する。

環境に対する注意事項

公共用水域に流さないよう留意し、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法

乾燥砂・土・ウエス等に吸収させて回収する。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱技術的対策

- ・必ず保護具を着用する。
- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・火気の近くで取り扱わない。
- ・使用場所の近くには可燃物、引火物を置かない。
- ・他の製品と併用、混用しない。
- ・アルカリ類、他の酸とは接触を避ける。
- ・用途外には使用しない。
- ・容器はその都度密閉する。
- ・必ず水洗所を設ける。

保管条件

- ・直射日光、火気、熱源から避ける。
- ・異物が容器に混入しないようにする。
- ・幼児の手の届く場所に保管しない。
- ・耐腐食性の容器に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

必ず換気、通気、排水をよくし、近くに手洗所を設ける。

保護具

眼に対する保護具…ゴーグル

手に対する保護具…ゴム手袋

その他…必要に応じて作業衣や保護マスクを着用する。

9. 物理的及び科学的性質

外観・状態	無色透明液体
臭い	特異臭
pH	2.5～3.5
比重(密度)	1.18～1.25
融点／凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	なし
溶解性	易溶

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い及び保管条件では安定である。
危険有害反応性	通常取り扱い及び保管条件では安定である。
避けるべき条件	低温・高温環境、直射日光、火気、加熱、異物の混入
混触危険物質	次亜塩素酸ナトリウム
危険有害な分解生成物	フッ化水素、フッ化アンモニウム、アンモニア

11. 有害性情報

急性毒性(経口 ラット LD50)	推定値…3,000mg/kg 飲み込むと有害
皮膚腐食性／刺激性	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
眼への損傷性／刺激性	重篤な眼の損傷
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれの疑い
発癌性	データなし
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸性呼吸器有害性	データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし
(反復暴露)	長期に亘る又は反復暴露による臓器の障害の恐れ

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	データなし
水生環境有害性(長期間)	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物等は、産業廃棄物として専門の処理業者に処分を委託する。
- ・土壌に浸透させたり、下水、河川等に流してはならない。
- ・関係法令を遵守し、各自治体の指示に従う。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連分類	クラス8
	国連番号	3265
	・運搬に際しては容器の破損、漏れ、栓の閉まり具合を確かめ、火気、衝撃、転倒、落下、破損、漏洩を生じないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。	
	※その他輸送関係法規を厳守する。	

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR)	第一種指定化学物質(政令番号:374) ふっ化水素及びその水溶性塩(政令番号:1-414)
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物質 ふっ素及びその水溶性無機化合物(政令番号:487) エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル(政令番号:79) 名称等を表示すべき危険物及び有害物質 ふっ素及びその水溶性無機化合物(政令番号:487)
毒物及び劇物取締法	該当しない

消防法
船舶安全法
航空法
水質汚濁防止法

該当しない
腐食性物質
腐食性物質
法第2条第2項第1号、施工令第2条(政令番号:25)
フッ素及びその化合物

16. その他の情報

* 本資料は製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては当該製品のすべての安全性やその他の特性を保証するものではなく、経験に基づきひとつの目安として参考にするものです。実際の使用にあたっては十分ご理解の上でお取り扱いください。